

南相馬変電所の大容量蓄電池システムの建設状況

- 福島県における再生可能エネルギーの導入拡大に向け建設を進めてきた、南相馬変電所の大容量蓄電池システムが、平成28年2月26日に営業運転を開始する予定。
- この蓄電池システムで得られる再生可能エネルギーの導入拡大効果(5万kW程度)は、福島県の避難解除区域等における太陽光発電事業へ優先的に割り当て。

1. 実証事業の概要

大容量蓄電システム需給バランス改善実証事業※	
設置場所	南相馬変電所 (福島県南相馬市小高区)
営業運転	平成28年2月26日(予定)
設置面積	8,500m ² 程度
実証設備	リチウムイオン電池 (出力:4万kW、容量4万kWh)

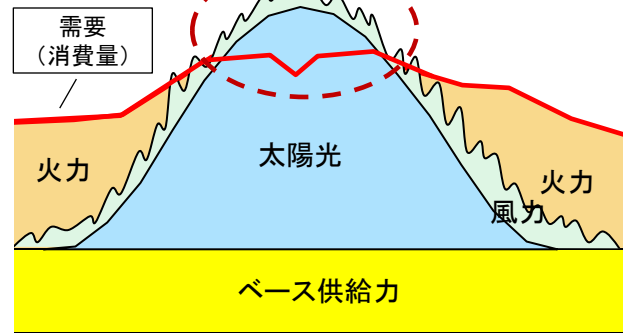
※一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の公募案件に当社が応募し採択されたもの

《実証事業の目的》

電力システムに大規模蓄電池を設置し、需給バランスを改善することで得られる、再生可能エネルギーの導入拡大効果について検証するもの。

(イメージ)

供給が需要を上回ると想定される時間帯に、揚水動力に加えて、蓄電池による充電を実施



2. 今後の検証項目(平成27~28年度)

- 将来的に最も余剰電力が発生すると想定される昼間の時間帯(12時~13時)等に蓄電池へ充電し、需要が高まる夕方等に放電する運用を実施
- この運用により得られたデータを分析し、蓄電池による需給バランスの改善効果や再生可能エネルギーの導入拡大効果を検証

《南相馬変電所大容量蓄電池システム外観》

